

第12回沖縄ヘルニア研究会



日 時

2025年 **2月22日** **土** **13:00~17:00**
12:30より受付開始

会 場

沖縄県医師会館 3階

沖縄県南風原町字新川218-9
TEL 098-888-0087

当番世話人

新垣 淳也

社会医療法人仁愛会
浦添総合病院 外科



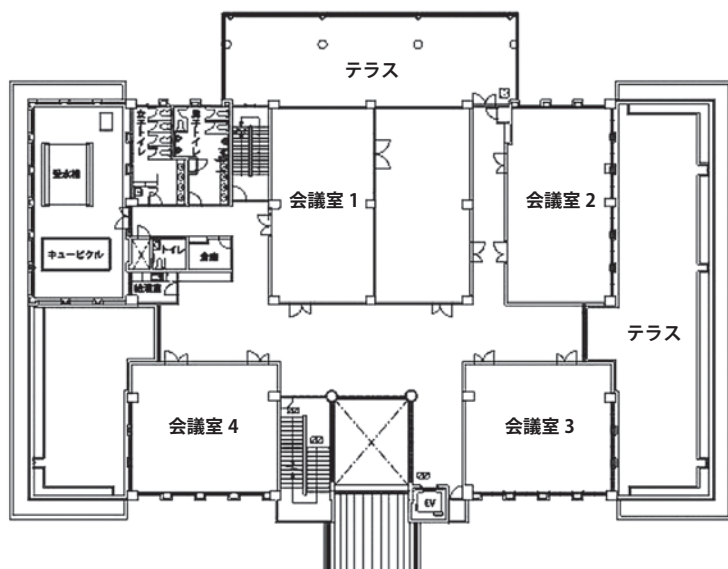
会場までの案内図



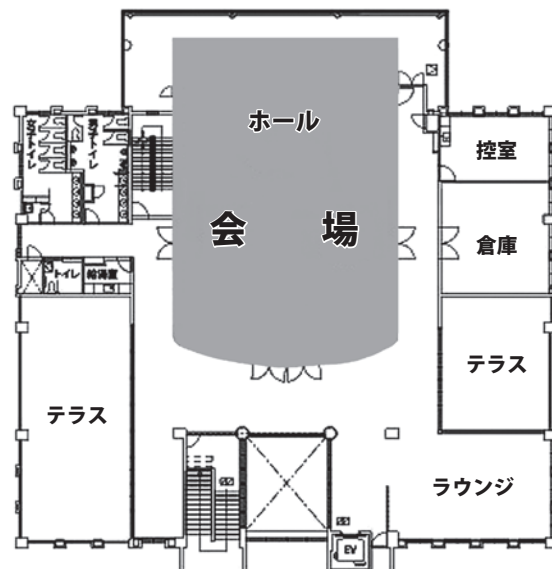
会場内の案内図

沖縄県医師会館

2 階 会議室 4：世話人会



3 階 ホール：研究会会場



「第 12 回沖縄ヘルニア研究会」の開催にあたって

当番世話人 新垣 淳也
(浦添総合病院 消化器病センター 外科)



この度、第 12 回沖縄ヘルニア研究会を 2025 年 2 月 22 日（土曜日）沖縄県医師会館にて開催することになりました。第 12 回沖縄ヘルニア研究会当番世話人の新垣淳也です。

本研究会は、鼠径ヘルニア、腹壁癒痕ヘルニアの知識を学べる場として毎年開催されてきました。今回も鼠径ヘルニアと腹壁癒痕ヘルニアについて、県内外より示唆に富む演題応募がありました。ありがとうございました。各施設の経験、様々な工夫を持ち寄り、日々の診療に還元できる学びの多い研究会になればと思います。

今回の特別講演の演者として、立川総合病院 蛭川浩史先生をお招きしています。蛭川浩史先生は 2024 年第 22 回 日本ヘルニア学会学術集会 会長をされ、学会参加者に TOKIMEKI を与えてくれた素晴らしい学会でした。鼠径ヘルニア、腹壁ヘルニア、我が国の腹腔鏡下ヘルニア修復術の第 1 人者の先生に本研究会特別講演をお願いしました。演題タイトルとして、『Minimally Invasive Abdominal Wall Reconstruction Surgery =Anatomy to Guideline: Elephant in the operating room=』についてのご講演を予定しています。

また、会場に隣接して企業展示ブースを設けています。皆様の参考になる発見があればと思います。

研究会が、多くの患者に良い医療が提供できるよう、皆様にとって明日からの医療に役立てて頂ければ願っております。多くの方々のご参加を心からお待ちいたしております。

開催にあたりご協力いただきました諸先生方、協賛を頂きました企業のみなさま、浦添総合病院診療部支援課 佐久川 様、東 様、他スタッフの皆様にご心から感謝いたします。

ご案内

ご参加の皆様へ

1. 参加費は 3,000 円です。受付にてお支払いください。
ただし、初期臨床研修医、コメディカル、看護師は無料です。記帳をお願いします。
2. 受付は 12 時 30 分より開始いたします。

演者の皆様へ

1. 発表は PC による口演のみです。
2. 発表時間は 6 分、討論 4 分です。
3. 個人 PC でご発表の方は、30 分前までに受付にて動作確認をお願いします。
4. 事務局 PC をご希望の方は、予め発表データを事務局まで送付をお願いします。
5. 万一のため発表データのバックアップ USB をご持参ください。
6. Mac を使用する場合は、接続コネクタもお持ちください。

座長の皆様へ

1. セッション開始 10 分前までには次座長席におつきください。
2. 時間厳守での進行にご協力をお願いします。

世話人の皆様へ

1. 12 時 30 分より世話人会を沖縄県医師会館 2 階 会議室 4 にて行います。
ご出席をお願いいたします。

プログラム

開会挨拶 13:00～13:05

当番世話人：新垣 淳也（浦添総合病院）

【Sponsor's Presentations】13:05～13:10

座 長：佐村 博範（浦添総合病院）

1. 「ガイドラインに即した新製品：3dmax ミディウムタイプのご紹介」

株式会社メディコン 田脇 美春

【一般演題 セッションⅠ】13:10～13:50

座 長：堀 義城（浦添総合病院）

発表 6 分、討論 4 分 10 分

I - 1. CT 診断と TAPP を用いた膀胱鼠経ヘルニアの治療戦略

〈大浜第一病院 代謝外科¹⁾、外科²⁾〉

上里安範¹⁾、稲嶺進¹⁾、沢岷安勝²⁾、川上雅代²⁾、高江洲亨²⁾

I - 2. TAPP におけるセプラフィルム使用の試み

〈ハートライフ病院 外科¹⁾ ヘルニアセンター²⁾〉

西原 実^{1) 2)}、国吉史雄^{1) 2)}、石野信一郎¹⁾、加藤 滋¹⁾、阿嘉裕之¹⁾、柏葉匡寛¹⁾、
比嘉宇郎¹⁾、宮平 工¹⁾、花城直次¹⁾、奥島憲彦¹⁾

I - 3. 腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術技術認定取得までの道のりと課題

〈中頭病院 消化器・一般外科〉

林 圭吾、安座間陽輝、大城絢音、小嶋智志、石嶺伝羽、照屋妹奈、大田多加乃、卸川智文、
砂川宏樹

I - 4. 腹腔鏡下に診断・修復を行った sacless sliding fatty inguinal hernia の一例

〈浦添総合病院 外科〉

原田哲嗣、星原祐輝、山城直嗣、本成 永、堀 義城、金城 直、伊禮俊充、新垣淳也、
佐村博範、亀山眞一郎、伊志嶺朝成

休憩 13:50～13:55

【一般演題 セッションⅡ】13:55～14:35

座 長：林 圭吾（中頭病院）

発表 6 分、討論 4 分 10 分

II - 1. 膀胱瘻に近接した腹壁癒痕ヘルニア再発に対して Anterior component separation と大腿筋
膜移植を併施した一例

〈中頭病院 消化器・一般外科〉

石嶺伝羽、林 圭吾、安座間陽輝、小嶋智志、大城絢音、照屋妹奈、大田多加乃、卸川智文、
砂川宏樹

II - 2. 子宮癌に対する放射線照射が原因の S 状結腸膀胱瘻術後の腹壁癒痕ヘルニアに対して
Ventric ST で修復した 1 例

〈みやざき外科・ヘルニアクリニック〉

宮崎恭介

Ⅱ－3. 腹壁ヘルニアに対する単孔 eTEP 法の治療成績

〈友愛医療センター 外科〉

仲地 厚、川満彰吾、桑江一希、新川慎之助、佐久本政彬、澁谷明広、清水 透、花城清俊、島袋鮎美、大久保洋平、西垣大志、安里昌哉、大田守仁、我喜屋亮、嵩下英次郎、照屋 剛、二宮基樹

Ⅱ－4. 臍部とストマ閉鎖部、2 か所の腹壁瘢痕ヘルニアに対して、eMILOS 法で修復した一例

〈沖縄協同病院 外科〉

加藤航司、平田勇一郎、小野 武、永田 仁、比嘉 聡、有銘一朗

休憩 14：35～14：45

【一般演題 セッションⅢ】 14：45～15：25

座 長：仲地 厚（友愛医療センター）

発表 6 分、討論 4 分 10 分

Ⅲ－1. 腹膜透析導入 3 ヶ月後に発症した交通性陰嚢水腫の 1 例

〈友愛医療センター 外科〉

新川慎之助、桑江一希、川満彰吾、澁谷明広、清水 透、島袋鮎美、花城清俊、大久保洋平、安里昌哉、西垣大志、大田守仁、嵩下英次郎、我喜屋亮、照屋 剛、二宮基樹、仲地 厚

Ⅲ－2. 膈管が下垂した直腸切断術後会陰ヘルニアに対しメッシュ修復術を行った 1 例

〈友愛医療センター 外科〉

澁谷明広、仲地 厚、花城清俊、新川慎之助、佐久本政彬、川満彰吾、桑江一希、清水 透、島袋鮎美、大久保洋平、西垣大志、安里昌哉、大田守仁、我喜屋 亮、嵩下英次郎、照屋 剛、二宮基樹

Ⅲ－3. S 状結腸間膜窩ヘルニア嵌頓の一例

〈中頭病院 消化器・一般外科〉

大城絢音、小埜智志、安座間陽輝、石嶺伝羽、照屋妹奈、大田多加乃、林 圭吾、卸川智文、砂川宏樹

Ⅲ－4. Meydl's hernia の一例

〈浦添総合病院 消化器病センター外科〉

山城直嗣、星原祐輝、原田哲嗣、本成 永、堀 義城、金城 直、伊禮俊充、新垣淳也、佐村博範、古波倉史子、長嶺義哲、亀山眞一郎

休憩 15：25～15：35

【特別講演】 15：35～16：35

座 長：新垣 淳也（浦添総合病院）

演 題：「Minimally Invasive Abdominal Wall Reconstruction Surgery
= Anatomy to Guideline: Elephant in the operating room =」

講 師：蛭川 浩史（立川総合病院 副院長 兼外科主任医長）

代表世話人挨拶 16：35～16：40

代表世話人：西原 実（ハートライフ病院）

閉会挨拶 16：40～16：45

当番世話人：新垣 淳也（浦添総合病院）

I - 1. CT 診断と TAPP を用いた膀胱鼠径ヘルニアの治療戦略

大浜第一病院／¹⁾ 代謝外科・²⁾ 外科

上里安範¹⁾、稲嶺 進¹⁾、沢岷安勝²⁾、川上雅代²⁾、高江洲亨²⁾

はじめに

膀胱鼠径ヘルニアは鼠径ヘルニアの 0.5～5% と稀で、腎不全や膀胱梗塞など重篤な合併症を引き起こす可能性があり、早期診断と治療が重要である。今回、TAPP（腹腔鏡下腹膜前修復術）により修復を行った 3 例を報告する。

症例

【症例 1】60 代男性、健診で右鼠径ヘルニア指摘。CT で左鼠径部に膀胱脱出を認め、TAPP で修復。術後 4 年再発なし。【症例 2】80 代男性、排尿時痛で救急受診。CT で左鼠径ヘルニア膀胱嵌頓を認め緊急 TAPP 施行。術後 2 年再発なし。【症例 3】80 代男性、右鼠径部痛で受診。CT で膀胱嵌頓を認め待機的 TAPP 施行。術後 1 年再発なし。

結語

CT は診断に有用で、TAPP は膀胱脱出の同定と修復に安全かつ効果的な手術法である。

I - 2. TAPP におけるセプラフィルム使用の試み

ハートライフ病院／¹⁾ 外科・²⁾ ヘルニアセンター

西原 実^{1,2)}、国吉史雄^{1,2)}、石野信一郎¹⁾、加藤 滋¹⁾、阿嘉裕之¹⁾、柏葉匡寛¹⁾、比嘉宇郎¹⁾、宮平 工¹⁾、花城直次¹⁾、奥島憲彦¹⁾

時折、TAPP 術後の腹腔鏡手術の際に腹膜縫合部への腸管等の癒着を見ることがある。癒着によって腸閉塞が発症すると、入院治療を強いられ、患者にとって著しい負担となる。

そこで、本年 6 月より、TAPP 施行時に癒着防止剤としてのセプラフィルムの使用を開始した。

セプラフィルムを Endo ロールで巻き取る際には、腹腔内へ挿入する直前に巻き取り、できるだけ縫合部に平行になるように挿入し、鉗子、トロックスガーゼで展開する。動画にて示す。

癒着による腸閉塞は患者への負担が大きいため、現状では癒着防止剤の使用は可と考える。セプラフィルムの展開には、経験が必要である。

I - 3. 腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術技術認定取得までの道のりと課題

中頭病院／消化器・一般外科

林 圭吾、安座間陽輝、大城絢音、小嶋智志、石嶺伝羽、照屋妹奈、大田多加乃、卸川智文、砂川宏樹

日本内視鏡外科学会（JSSES）の技術認定医資格は、外科医にとって重要な目標の 1 つであり、今回幸いにも腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術（TAPP）において合格することができた。本発表ではその道のりと今後の課題について報告する。

合格までの症例数は約 150 例。①解剖学的構造の確実な確認、②手術手技の定型化に注力し、再現性のある手術手技確立を目指した。同手術での認定医が身近にいなかったため、JSSES の審査項目やセミナー、ビデオクリニックを参考に自己評価を行い、手技向上に努めた。

合格後は後輩の先生方への指導も定型化、言語化を行い再現性のある手術手技を目指し、施設全体の技術向上を目指している。実際の合格ビデオを提示し、取り組みについて報告する。

I - 4. 腹腔鏡下に診断・修復を行った sacless sliding fatty inguinal hernia の一例

浦添総合病院／外科

原田哲嗣、星原祐輝、山城直嗣、本成 永、堀 義城、金城 直、伊禮俊充、新垣淳也、佐村博範、亀山眞一郎、伊志嶺朝成

腹腔鏡手術での鼠径ヘルニアの診断は比較的容易であるが、腹膜陷凹を認めない場合の対応に苦慮する場合がある。今回 sacless sliding fatty inguinal hernia に対し腹腔鏡下に修復を行った症例を経験したため報告する。

症例は 57 歳男性。30 年ほど前に右鼠径ヘルニアに対する手術歴があった。受診半年ほど前から再度右鼠径部の膨隆を認めるようになり、前医を受診し当院紹介となった。右鼠径ヘルニア再発の診断で腹腔鏡下ヘルニア手術の方針となった。腹腔鏡下に観察を行うと、右鼠径部には明らかな腹膜陷凹を認めなかった。腹膜前腔の剥離を行うと、下腹壁動静脈の外側に 20mm 程度の筋膜欠損を認めた。十分に腹膜前腔の剥離を追加し、Bard 3D Max[®]を留置し手術を終了した。

欧米では sacless sliding fatty inguinal hernia の概念が提唱されているが、本邦では報告が少なくヘルニア類似病変とされている。明らかに症状を認める場合、腹膜陷凹を認めない場合であっても筋膜欠損部の積極的な検索と修復が重要と考えられた。

〈MEMO〉

Ⅱ－１．膀胱瘻に近接した腹壁癒痕ヘルニア再発に対して Anterior component separation と大腿筋膜移植を併施した一例

中頭病院／消化器・一般外科

石嶺伝羽、林圭 吾、安座間陽輝、小埜智志、大城絢音、照屋妹奈、大田多加乃、
卸川智文、砂川宏樹

【はじめに】腹壁癒痕ヘルニアにおいて感染等の高リスク例では単純閉鎖や自家組織での修復を検討する必要がある。今回、膀胱瘻近傍に再発した腹壁癒痕ヘルニアに対して Anterior component separation と大腿筋膜移植を併施した一例を経験したため報告する。

【症例】70代男性。30年前に交通外傷で膀胱瘻が造設された。1年前に癒着性腸閉塞、腹壁癒痕ヘルニアに対して、腸管癒着剥離術と単純閉鎖による修復術が行われた。今回、膀胱瘻近傍に腹壁癒痕ヘルニア再発を認め、手術を行った。術後、創部に感染を認めたが保存的治療で改善し、ヘルニアの再発なく経過している。

【結語】感染高リスクの腹壁癒痕ヘルニア再発に対して自家組織による修復術を行い、良好な結果が得られた。

Ⅱ－２．子宮癌に対する放射線照射が原因の S 状結腸膀胱瘻術後の腹壁癒痕ヘルニアに対して Ventrío ST で修復した 1 例

みやざき外科・ヘルニアクリニック

宮崎恭介

子宮癌に対する放射線照射が原因の S 状結腸膀胱瘻術後の腹壁癒痕ヘルニアに対して、Ventrío ST で修復した 1 例を経験した。

症例：77 歳、女性

既往歴：29 歳、子宮癌で子宮全摘術＋放射線照射

76 歳、放射線照射の晩期障害として S 状結腸膀胱瘻を発症し、他院で S 状結腸切除、膀胱部分切除、人工肛門造設術を受ける。

現病歴：術後に手術創感染を来とし創哆開、陰圧閉鎖療法により軽快するも腹壁癒痕ヘルニアとなり、増大傾向のため当院紹介となる。

現症：147cm、41kg、左下腹部に S 状結腸人工肛門あり

EHS 分類：初発 M3-5、縦径 12cm、横径 7.5cm（W2）

手術：腹壁消毒後、人工肛門にガーゼを詰め、周囲を被覆材で貼付した。下腹部正中切開で開腹しヘルニア嚢を切除。皮下脂肪と腹直筋前鞘の間を剥離し、腹直筋前鞘に数カ所の減張切開を行った。メッシュは Ventrío ST（M size, 14X11cm）を腹腔内に挿入し、メッシュ辺縁はナイロン糸で腹膜に縫合固定した。ヘルニア門は open とし、ヘルニア門辺縁とメッシュのポケット部分を Gore-Tex suture を用いて縫合固定した。最後に、19Fr 閉鎖ドレーンを腹腔内に挿入し閉鎖。

経過：術後 5 ヶ月現在、再発や手術創感染はなく、経過良好である。

〈MEMO〉

Ⅱ－3. 腹壁ヘルニアに対する単孔 eTEP 法の治療成績

友愛医療センター／外科

仲地 厚、川満彰吾、桑江一希、新川慎之助、佐久本政彬、澁谷明広、清水 透、花城清俊、島袋鮎美、大久保洋平、西垣大志、安里昌哉、大田守仁、我喜屋亮、嵩下英次郎、照屋 剛、二宮基樹

【はじめに】 当院における腹壁ヘルニアに対する単孔 eTEP 法の治療成績を報告する。

【対象と結果】 2022 年 1 月の開始後 2 年 10 ヶ月の間に経験した単孔 e-TEP 法は 31 例。年齢の中央値は 65.0 (37-89) 歳、BMI は中央値 27 (15-39) kg/m²。19 例は腹壁癒痕ヘルニアで 12 例は臍ヘルニア、抗血小板剤の使用症例が 3 例。ヘルニア門の平均横径は 50.5mm (15-110)。術者は 31 例中 21 例 (67.7%) が PGY3～5 の外科専攻医で、平均手術時間は 216.8 分 (103-370)。腹直筋後腔ドレーンを挿入した 9 例と挿入しなかった 22 例を比較すると術後 1 日目の疼痛 NRS は 3.2、2.8、術後入院期間は 5.7 日、4.0 日 (p=0.01) であった。合併症はドレーン刺入出血が 1 例、漿液腫が 5 例で創感染や慢性疼痛や再発は認めなかった。

【まとめ】 単孔 eTEP 法は鉗子操作と縫合に工夫を要するものの、習熟を要する白線筋膜のクロスオーバー手技が不要であるため導入が比較的容易で、手技を定型化し習熟することで手術時間の短縮が得られると思われる。

Ⅱ－4. 臍部とストマ閉鎖部、2 か所の腹壁癒痕ヘルニアに対して、eMILOS 法で修復した一例

沖縄協同病院／外科

加藤航司、平田勇一郎、小野 武、永田 仁、比嘉 聡、有銘一朗

症例は 64 歳の男性。Rb 直腸癌に対して taTME 併用の腹腔鏡下超低位前方切除 + 回腸一時的人工肛門造設術を施行した。経過良好で術後 5 か月目に回腸人工肛門を閉鎖した。その後の経過観察中に、臍部、ストマ閉鎖部の 2 か所に腹壁癒痕ヘルニアを認め、ヘルニア門のサイズはそれぞれ、臍部:5×7cm、ストマ閉鎖部:4×5cm であった。患者希望で腹壁癒痕ヘルニア根治術を計画した。

術式は endoscopic mini/less open sublay repair (以下、eMILOS 法) を選択、臍部とストマ閉鎖部 2 か所の腹壁癒痕ヘルニアを同時、一括に修復し、術後 3 か月、再発なく経過観察中である。1 か所のみの単純な腹壁癒痕ヘルニアに比して、手術手技でやや注意を要する点もあり、報告する。

〈MEMO〉

Ⅲ－１． 腹膜透析導入 3 ヶ月後に発症した交通性陰嚢水腫の 1 例

友愛医療センター／外科

新川慎之助、桑江一希、川満彰吾、澁谷明広、清水 透、島袋鮎美、花城清俊、大久保洋平、安里昌哉、西垣大志、大田守仁、嵩下英次郎、我喜屋亮、照屋 剛、二宮基樹、仲地 厚

緒言：腹膜透析（peritoneal dialysis：PD）導入後に発症した交通性陰嚢水腫という比較的稀な症例を経験したので報告する。

症例：48 歳男性。常染色体優性多発性嚢胞腎による末期腎不全のため PD を導入された。PD 導入 3 ヶ月後、透析液貯留後から左股関節痛、左陰嚢腫大を認めた。CT で両側鼠径管周囲を中心に液体貯留と下腹部の皮下浮腫を認めたがいずれも鼠径ヘルニアを疑う所見は認めず、PD に伴う交通性陰嚢水腫として当科に紹介された。第 1 病日より PD を中断し第 7 病日に水腫消失を確認した。陰嚢水腫の再発リスクがあり、有症状の左側に対して第 16 病日に鼠径ヘルニア根治術に準じて鼠径部切開法で修復術を施行した。術後 4 日目から腹膜透析を再開し陰嚢水腫の再発なく術後 11 日目に退院した。

結語：PD 導入後の交通性陰嚢水腫において、外科治療を行うことで再発なく早期の PD 再開が可能だと考えられた。

Ⅲ－２． 膣管が下垂した直腸切断術后会陰ヘルニアに対しメッシュ修復術を行った 1 例

友愛医療センター／外科

澁谷明広、仲地 厚、花城清俊、新川慎之助、佐久本政彬、川満彰吾、桑江一希、清水 透、島袋鮎美、大久保洋平、西垣大志、安里昌哉、大田守仁、我喜屋亮、嵩下英次郎、照屋 剛、二宮基樹

【はじめに】直腸切断術後に膣管が下垂した会陰ヘルニアを経験したので報告する。

【症例】症例は 58 歳、女性。体重 42.1kg、BMI16.9。肛門管下部直腸癌に対し腹腔鏡下直腸切断術＋両側側方リンパ節郭清術を施行（2 型 70mm pT3N0M0 stageIIa）し術後補助化学療法を施行。術後 4 年 7 ヶ月後に座位作業中に臀部の違和感出現し次第に腹部臓器が下垂する症状が増悪。画像検査で骨盤底に膣管が下垂し会陰ヘルニアと診断し開腹ヘルニア修復術を行った。仙骨に軽度癒着した後屈子宮を剥離すると 7X5cm の会陰ヘルニア門に膣管が下垂する状態であった。子宮全摘を施行し膣閉鎖断端の両端を子宮円索に縫合牽引し 17X15cm の吸収性癒着防止付きメッシュをお椀型に形成し骨盤底に静置し 2 重冠状に腹膜と縫合、メッシュの前方 2 点と後方 1 点を形成したメッシュテープにて恥骨骨膜と仙骨骨膜に縫合牽引した。

【まとめ】膣管が下垂した会陰ヘルニアを経験したので手術方法について文献的考察を含めて報告する。

〈MEMO〉

Ⅲ－3. S 状結腸間膜窩ヘルニア嵌頓の一例

中頭病院

大城絢音、小埜智志、安座間陽輝、石嶺伝羽、照屋妹奈、大田多加乃、林 圭吾、
卸川智文、砂川宏樹

【背景】

S 状結腸間膜関連の内ヘルニアは稀な疾患であり、しばしば診断に難渋する。今回 S 状結腸間膜窩ヘルニア嵌頓の一例を経験したため報告する。

【症例】

右鼠径ヘルニアの既往のある 63 歳男性。腹痛と嘔吐を主訴に当院外来を受診。腹部造影 CT で異常所見なく帰宅したが、翌日に再度同症状で受診。腹部造影 CT で絞扼性小腸閉塞が疑われ同日審査腹腔鏡を行った。術中所見で S 状結腸間膜窩ヘルニアを認め、腸管壊死所見はなく、S 状結腸間膜窩を縫合閉鎖し手術終了した。術後経過良好で POD9 に自宅退院した。

【結語】

S 状結腸間膜関連ヘルニアは内ヘルニアの 3～5% と稀であり、術前診断に難渋した報告も多い。特徴的な画像所見の報告もあり、原因不明の腸閉塞を来した場合はこれを念頭に観察を行う必要がある。

Ⅲ－4. Maydl's hernia の一例

浦添総合病院 消化器病センター／外科

山城直嗣、星原祐輝、原田哲嗣、本成 永、堀 義城、金城 直、伊禮俊充、新垣淳也、
佐村博範、古波倉史子、長嶺義哲、亀山眞一郎

《緒言》

Maydl's hernia は、ヘルニア嚢内に複数の腸管ループが脱出・嵌頓することで、脱出腸管ループに挟まれた、腹腔内の腸管ループが絞扼される病態である。嵌頓ヘルニアの 0.6～1.9% と比較的稀な病態である。

《症例》

症例は 82 歳、男性。10 年前から左鼠径部の膨隆を自覚していたが、適宜自身で還納していた。受診前日から疼痛増強したため当院受診となった。用手還納不能の左巨大鼠径ヘルニア（ラグビーボール大）を認め、CT ではヘルニア嚢内に大量の小腸が脱出。腹水あり。脱出小腸の壁造影効果は保たれていたが、腹腔内小腸は拡張し壁造影効果不良であった。小腸壊死を否定できず緊急手術となった。

下腹部正中切開でアプローチした。腹腔内腸管はうっ血し、色調不良であったが、壊死には至っていなかった。脱出腸管を全て還納。壊死所見は認めず、小腸切除は不要であったが、小腸拡張・壁肥厚著明であったため、術中経鼻イレウス管を留置した。ヘルニア門の修復は、下腹部正中切開創から腹膜前腔を剥離し、腹腔鏡下手術の要領で修復を行った。BARD 3DMax Light mesh (Large size) を留置しタッカー・ナイロン糸で固定した。術後 12 日目に軽快自宅退院となった。

今回、Maydl's hernia の症例を経験したので、文献的考察も交えて報告する。

〈MEMO〉

Minimally Invasive Abdominal Wall Reconstruction Surgery

= Anatomy to Guideline: Elephant in the operating room =



ひるかわ ひろし
蛭川 浩史

立川メディカルセンター 立川総合病院 副院長 兼外科主任医長

最終学歴 群馬大学医学部 平成2年3月 卒業

【主な職歴】

平成2年5月 東京医科歯科大学医学部附属病院 第2外科 入局

平成8年10月 新潟大学医学部附属病院 第1外科 入局

平成12年4月 秋田組合総合病院 外科

平成16年4月 立川メディカルセンター 立川総合病院 外科主任医長

令和4年4月 立川メディカルセンター 立川総合病院 副院長 兼外科主任医長

【資格】

日本外科学会 専門医、指導医

日本消化器外科学会 専門医、指導医

日本大腸肛門病学会 専門医、指導医

日本臨床外科学会 評議員

日本ヘルニア学会 理事

日本内視鏡外科学会、評議員、技術認定医

日本がん治療認定医機構 がん治療認定医

沖縄ヘルニア研究会 会則

第1条 名 称

本会は、日本ヘルニア学会関連地域研究会の一つとして「沖縄ヘルニア研究会」と称する。

第2条 目 的

本会は、沖縄県における腹部ヘルニアの医療技術・学問的研究等の向上をめざし、よりハイクォーリティなヘルニア医療を広く県民に提供して県の医療福祉に寄与することを目的とする。また、会員相互の情報交換、連携と親睦を図ることを目的とする。

第3条 事 業

本会は、目的を達成するために次の事業を行う。

第4条 会 員

1. 本会を構成する会員は、第2条の目的に賛同する医師・その他の医療従事者や研究者とし、会員または賛助会員とする。
2. 会員は、本会事務局へ入会の手続きをとり、学術集会等の開催案内をうけることができる。

第5条（役員および任期）

1. 本会に次の役員をおく。

代表世話人	1名
世話人	若干名
会計	1名
監事	1名
2. 世話人会は、役員をもって構成し、会の運営を議し執行する。役員および世話人の選出は世話人会の了承を得て行われる。任期は2年とし、再任を妨げない。
3. 代表世話人は、世話人会により定められ本会を代表する。
代表世話人は、会務を総括し、年1回以上の世話人会を開催する。任期は2年とし、再任を妨げない。
4. 当番世話人は、世話人の中から選出され研究会の開催、運営をおこなう。
5. 会計担当は、専任の事務職員をあてる。
6. 役員は、日本ヘルニア学会会員とする（但し、会計係を除く）。

第6条 事 務 局

本会の事務局は、当分のあいだ「社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院外科」に置く。

〒901 - 2492 沖縄県中頭郡中城村字伊集 208

TEL: 098-895-3255 FAX: 098-895-5685

第7条 顧問、名誉会員

世話人会の推挙により顧問、名誉会員をおくことができる。

顧問は、本会の運営活動に対し実質的な参加が困難な指導的立場にあるものを推挙する。

名誉会員は、本会の維持、発展に貢献のあった世話人を推挙する。

第8条 会 費

1. 会費（3,000円）は、会の開催時に年会費（参加費を含む）として徴収し、一部を特別講師の謝礼等にあてる。
2. 賛助会員は、年会費として一口50,000円以上納入する。

第9条 会 計

本会の会計年度は、1月1日より12月31日とする。

本会の収支決算は、事務局長が会計年度ごとに行い監事の監査を受け世話人会で承認を得る。

第10条 会則変更等

会則の変更ならびに定められていない事項は、世話人会で討議し決定する。

第11条 細 則

1. 本会の運営は、「沖縄ヘルニア研究会」が主催する。
2. 学術集会は、研究発表会（春季）、Surgical Forum（秋季）とする。
3. 研究発表会（春季）の開催に当たり、当番世話人（日本ヘルニア学会会員）は 次の業務を賛助会員に協力を要請することができる。
 - ・研究会開催に必要な労務、・プログラムの作成と会員への案内、
 - ・事務局代行業務、・その他
4. Surgical Forum（秋季）は、事務局が企画し、当番世話人（沖縄ヘルニア研究会世話人）に委託する。委託された当番世話人は、会場の設営、当日の会の運営を行う。
5. 賛助会員は、本会の開催に当たり広告・器械展示等を持って会の運営に協力するものとする。
6. 事務局業務従事者に対し、下記の謝礼を支払う。
 - 会計係：¥30,000（年間）
 - 事務係：¥20,000（年間）

附則：

- ・本会則は、平成25年11月1日より実施する。
- ・平成25年11月1日に 第8条会費の条項を改定した。
- ・平成27年1月18日に第8条会費の1項を、会費（2,000円）を会費（1,000円）に改定した。
- ・令和2年2月22日に第5条の5項、6項を改定した。
 - 5項 会計係に専任者を置くことにした。
 - 6項 会計係は日本ヘルニア学会非会員の役員とした。
- ・令和2年2月22日に第11条の細則を以下のように追加および改定した。
 2. 学術集会は、研究発表会（春季）、Surgical Forum（秋季）とする。
 3. 研究発表会（春季）の開催に当たり、当番世話人（日本ヘルニア学会会員）は次の業務を賛助会員に協力を要請することができる。
 - ・研究会開催に必要な労務、・プログラムの作成と会員への案内、
 - ・事務局代行業務、・その他
 4. Surgical Forum（秋季）は、事務局が企画し、当番世話人（沖縄ヘルニア研究会世話人）に委託する。委託された当番世話人は、会場の設営、当日の会の運営を行う。
 6. 事務局業務従事者に対し、下記の謝礼を支払う。
 - 会計係：¥ 30,000（年間）
 - 事務係：¥ 20,000（年間）
- ・令和5年1月8日に第8条会費の1項、会費（1,000円）を会費（3,000円）に改定した。

役員名簿

代表世話人	西原 実	社会医療法人かりゆし会	ハートライフ病院
世話人 (50 音順)	新垣淳也	社会医療法人仁愛会	浦添総合病院
	稲嶺 進	医療法人おもと会	大浜第一病院
	奥濱幸博	医療法人信和会	沖縄第一病院
	卸川智文	社会医療法人敬愛会	中頭病院
	兼城隆雄	医療法人沖縄徳洲会	宮古島徳洲会病院
	川上浩司	医療法人友英会	友寄クリニック
	加藤航司	沖縄医療生活協同組合	沖縄協同病院
	国吉史雄	社会医療法人かりゆし会	ハートライフ病院
	佐辺直也	地方独立行政法人	那覇市立病院
	仲地 厚	社会医療法人友愛会	友愛医療センター
	仲里秀次	日本赤十字社	沖縄赤十字病院
	林 圭吾	社会医療法人敬愛会	中頭病院
会 計	當銘真美・加納 綾	ハートライフ病院	医局秘書
監 事	友利寛文	地方独立行政法人	那覇市立病院
名誉代表世話人	嵩原裕夫	社会医療法人かりゆし会	ハートライフ病院

企 業 一 覧

〈展示企業〉

株式会社 メディコン

〈広告掲載企業〉

ジョンソン・エンド・ジョンソン 株式会社

コヴィディエンジャパン 株式会社

〈協賛企業〉

アイティーアイ 株式会社

株式会社 沖縄メディコ

株式会社 中央医療器

南西医療器 株式会社

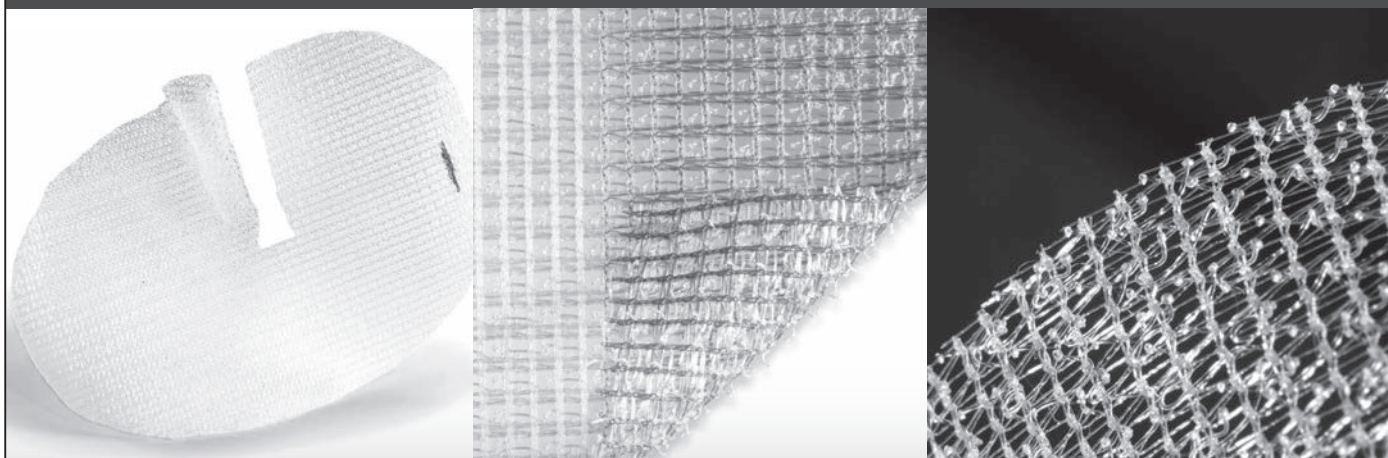
株式会社 八光

ご協賛いただき、心より感謝申し上げます。

THE RIGHT SOLUTION FOR PAIN PREVENTION.



— ProGrip™ Technology



販売名：バリテックス プログリップ
医療機器承認番号：22100BZX00950000

販売名：バリテックス ラッププログリップ
医療機器承認番号：22600BZX00260000

使用目的又は効果、警告・禁忌を含む使用上の注意等の情報につきましては
製品の添付文書をご参照ください。

お問い合わせ先
コヴィディエンジャパン株式会社
Tel：0120-998-971

medtronic.co.jp

© 2021 Medtronic. Medtronic、Medtronicロゴマーク及びFurther, Togetherは、Medtronicの商標です。
TMを付記した商標は、Medtronic companyの商標です。

SI-A255

Medtronic
Further, Together

ENDOPATH®
XCEL Trocar series



PDS PLUS®



STRATAFIX®
Spiral PDS Plus®



Powered ECHELON FLEX®+
GST® System



Reimagining how we heal™

ENSEAL®
X1 Curved Jaw Tissue Sealer



DERMABOND PRINEO®



SURGIFLO®



HARMONIC® 1100



SURGICEL® Powder
Absorbable Hemostat



HARMONIC
FOCUS®+



SURGICEL SNOW®
Absorbable Hemostat
SURGICEL®
ABSORBABLE HEMOSTAT



ECHELON CIRCULAR®
Powered Stapler



ETHICON

Johnson & Johnson SURGICAL TECHNOLOGIES

製造販売元：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 メディカルカンパニー
〒101-0065 東京都千代田区西神田 3-5-2 TEL.0120-160-834

231371-221031
©J&J 2022

販売名：エンドスコピック パワード リニヤー カッター 承認番号：22500BZX00396000
販売名：GST カートリッジ 承認番号：22700BZX00155000
販売名：エシェロン サークュラー パワードステイプラー 承認番号：30100BZX00156000
販売名：エンドパス トロッカーシステム 承認番号：21900BZX00882000
販売名：ハーモニック 1100 シアーズ 承認番号：30300BZX00138000
販売名：エンシール X1 ティッシュシーラー 承認番号：30200BZX00391000
販売名：ハーモニック FOCUS プラス 承認番号：22700BZX00411000

販売名：STRATAFIX Spiral PDS プラス 承認番号：22900BZX00123000
販売名：PDS プラス 承認番号：22300BZX00333000
販売名：ダーマボンド プリネオ 届出番号：13B1X00204ME0010
販売名：サージフロー® 承認番号：23100BZX00112000
販売名：サージセル®・パウダー・アブソーバブル・ヘモスタット 承認番号：30200BZX00082000
販売名：サージセル スノー・アブソーバブル・ヘモスタット 承認番号：30300BZX00042000
販売名：サージセル・アブソーバブル・ヘモスタット 医薬品承認番号：14700AMY00205000

承認番号：22900BZX00123000
承認番号：22300BZX00333000
届出番号：13B1X00204ME0010
承認番号：23100BZX00112000
承認番号：30200BZX00082000
承認番号：30300BZX00042000
医薬品承認番号：14700AMY00205000

